

飲め！ 食え！ 遊べっ！

かずまつり！！

湊地区

安形優里
澁谷和希
下里陵馬

目次

- ◆ 数馬の魅力
- ◆ 住民からの意見
- ◆ 理想・現状・課題
- ◆ 企画内容・影響
- ◆ 今後の課題

数馬の魅力

伝統行事



↑ 平成30年 数馬区祭礼

岩谷観音堂



数馬の魅力



あたたかさ
住民の**LOVE!**

住民からの意見

自然の手入れが
されていない

空き家
が多い

子どもとの交流が
なくなった

就職先が
ない

地区外との
交流が
少ない

学童が区内
にない

インフラが整備さ
れていない



ミクロな視点からの住民意見

- ・**地区外の子供や保護者と交流したい**(親)
- ・**祭りがあれば都会に出た子供が帰ってくる**(親)
- ・**コロナでイベントが減少、復活が困難...**

イベントの負担が重い、、、(こども会)

- ・**学校の統廃合で数馬に子供が集まるから活かしたい**(高齢者)
- ・**子供の声が増少**(高齢者)



原区長

子供の意見

屋台が無料
だったらいいな

お祭りみたいな
イベントが欲しい

豪華な景品が
欲しい

外で遊ぶの
好き



理想・現状・課題

理想

- ・出ていった人たちが帰ってくる
- ・地区内外の交流が深まる

現状

- ・お祭り以外ではあまり帰ってこない
- ・イベントが休止し、交流の機会がない
- ・負担が大きい

課題

- ・イベントの規模を大きくする
- ⇕
- ・負担を減らす

矛盾！！

解決策の提案

お金がかからず、手間が少ないイベントを開く！！

飲め！ 食え！ 遊ベッ！
かずまつり！！



簡易説明

「飲め！ 食べ！ 遊ベッ！ かずまつり」とは...

前半：子供も大人も参加できるレク

後半：大人は飲んだりもできる食事会

楽しさOnly!

大人は飲み食いで
仲良くなる！！(実
証済み)

提案の内容①

運営

- 子供会、青年会、壮年会、福寿会、婦人会

会で協力すれば
良いのでは？

参加者

- 老若男女
- 天羽小に通う地区外の子供たちも
- 数馬→湊→周りの地区(徐々に拡大)
- 富津(湊)を出ていった人(将来的に)
 - 将来帰って来たいと思えるふるさとの思い出にするために



提案の内容②

開催時期

🌸春(年1)

- 朝～昼(10時～15時)
- 観桜会と合体

🍁秋(2年に1回、祭りが無い年)

- 朝～昼(10時～15時)
- 子供中心

🧑‍🎄冬(年1)

- 夜(18時～)
- 大人中心、忘年会

半日なら
負担が減る

秋の祭り
と被ると大変

提案の内容③

場所

- 数馬区の公民館(山車展示)
- 高校の校庭、グラウンド(駐車場等)

費用

- 景品代(お菓子など)
- 食事は**無料提供**
 - 余った米や野菜、お酒を持参
 - ボランティア

お祭りは
食べ物無料配布
したい

優しさは
0円!

昔、無料焼きそばで
子供200人来た



提案の内容④

広報時期

- 半年前から

広報媒体

- 学校のお便り
- 自治体LINE
- 回覧板
- チラシをポストに投函
- 親戚、知人伝い



半年前なら
予定開けられる

祭りは
当たり前だから
広報不要

長期的に、、、恒例化して覚えてもらう

なんでこのプランが必要ななの？

- ・行事の負担を減らす
- ・コロナ後の行事復活に
- ・地元に戻る機会の増加
- ・交流機会の増加



レクの具体例

- かるた
- かくれんぼ
- 大縄
- おにごっこ
- わなげ
- オセロ
- ボッチャ
- ドッジビー
- 椅子取りゲーム
- 大根抜きゲーム
- ボウリング
- キックベース
- トレジャーハント



カルタ大会(例)

- 毎年開催(10時～12時)
- 大人も参加(計60人程度)
- 個人戦/トーナメント式
- 1試合15分✖6
- 富津ふるさとカルタを使用
- 優勝者には景品とトロフィー
- 優勝者は知識自慢の副区長(畳屋さん)とエキシビジョンマッチ



問題解決となる理由

- ・従来のイベントに比べ、運営や参加者の負担が少ない
- ・大人も子供も参加するイベントなら、交流を深められる
- ・大人も楽しめるイベントなら、地区から出ても戻ってきたくなる
- ・規模感や参加者の反応が既存のお祭りなどの復活の参考になる

長期プラン

思い入れのあるイベントにして、帰ってきてもらえるようにする

子供: かずまつりに参加、様々な子供や大人と知り合う。

ふるさとの思い出に。



若者: 町から出る。イベント開催時に帰省。地元の良さを再実感。



その後: 住みやすさを求めて数馬に帰る。

子育てのため、
湊の祖父母の
もとに

子供同士や子供と大人の交流による影響

子供同士:

- 地区外の子供と知り合える
- 外で遊べる



子供と大人:

- 相互扶助、地域とのつながりの構築
- 子供が中でゲームするより、外で遊ぶ姿を大人が見られる



大人同士の交流による影響

- ・地区をまたいで交流、盛り上げ
- ・子育てなど情報交換
- ・新規移住者、地元に戻った人との
コミュニケーションの場



今後の課題

- ・無償の部分がなくなった際の対応
- ・より魅力的なレクリエーションの考案
- ・運営主体の人手不足
- ・地区外からの交通の便の確保

日本一あたたかい区

LOVE! **KAZUMA !!**



ご清聴ありがとうございました！



インタビュー等、発表にあたりご協力いただいた区民の方々、及び開催にあたりお力添えをいただいた方々、本当にありがとうございました！

数馬区、さいこう！